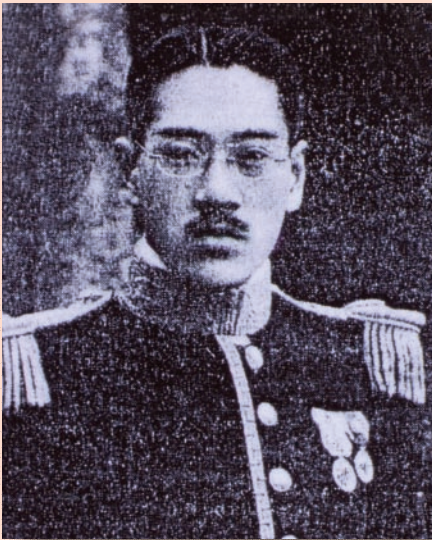


短歌

もうりへきどう
毛利碧堂

下関市
(1890～1966)



【著作】

『白梅歌集』 (毛利碧堂選 大正12・白梅詩社)
(下関市立長府図書館蔵)

【閲覧情報】

歌誌『白梅』6冊 (中原中也記念館蔵)
『回顧七十年』 小野田セメント株式会社
(創立七十年史編集委員会
(山陽小野田市立中央図書館蔵)

毛利藩の支藩である清末毛利家の第十代当主碧堂（本名元恒）は、明治二十三年（一八九〇）七月二十日に生まれた。

歌人としての碧堂は、金子薫園に師事し歌誌『光』創刊号（大正七年）に参加、万葉調でありながら、古今調の流暢にして繊細、叙景より叙情に優れた歌を発表して活躍したが、三十二歳の時、山口県下初の歌誌『白梅』を大正十一年（一九二二）七月に創刊。主幹として歌作に研究に評論に健筆をふるい、大正、昭和の山口県歌壇に大きな影響を与えた。

『白梅』は表紙を竹久夢二が描き、生田蝶介・若山牧水・吉井勇・窪田空穂らも参加し選者をつとめた。（『山口県百科事典』山口県教育委員会編・大和書房）。他に、『白梅』第二十三号（A5版100頁・中原中也記念館蔵）には、三ヶ島蓼子・斎藤瀏・浅野梨郷・石樽千亦・大村呉樓などの中央歌壇の著名歌人も文章を寄稿している。発行所に寄せられる寄贈歌誌は東京はじめ全国にわたったが三十一号で終刊した。

又、碧堂選の『白梅歌集』を大正十二年（一九二三）発刊。（長府図書館蔵）。出詠者は全国から六十二人、山口県はじめ二十四道府県及び南米からも参加者があり、碧堂の活動が全国規模のものであったことを知ることができる。

のち、昭和四年（一九二九）、碧堂は東京に移住。残念ながら以後の活動は不明である。しかし、歌誌『白梅』で碧堂の影響を受け活躍した、竹内八郎・大田哀歌鳥・江原青鳥・小川五郎といった人々がその後の県歌壇と、文芸に指導的役割を果たしたことから、碧堂の残した影響と、その業績は高く評価されてよいであろう。

子爵貴族院議員・小野田セメント取締役・山口県家禽会会長などを務め、『現代防長人物誌・人』（井関九郎著・大正六年（一九一七）発行）には、「平民主義にして能く郷黨に親しまる」と記されている。

昭和四十一年（一九六六）、七十六歳で東京都小金井市の自宅で逝去した。

（文・中西輝磨）



前列右端



表紙絵・竹久夢二

雨はれていやさやかなる杉の色
谷にかたむき陽はうすれつつ
時雨はれてしみじみ帰る夕山路
ねぐら鶉が音谷にきこえつ
筑紫ねにいごよふもやはれしがり
雨気おもたく夕つきにけり
夕まけてくぬ木林をなきめぐる
かささぎわれに近く来にける
われも亦大江の流れ元就の
むかしをしのぶ安藝の宮島

（『白梅歌集』抜粋
大正十二年十月一日発行
発行者 上村晴輔より）

毛利碧堂 年譜

（提供・毛利元茂、中西輝磨）

明治23（一八九〇）年	明治43（一九一〇）年	大正3（一九一四）年	大正4（一九一五）年	大正6（一九一七）年	大正9（一九二〇）年	大正11（一九二二）年	大正12（一九二三）年	大正13（一九二四）年	大正14（一九二五）年	昭和2（一九二七）年	昭和4（一九二九）年	昭和5（一九三〇）年	昭和7（一九三二）年	昭和9（一九三四）年	昭和11（一九三六）年	昭和13（一九三八）年	昭和15（一九四〇）年	昭和19（一九四四）年	昭和20（一九四五）年	昭和41（一九六六）年							
二〇歳	二四歳	二五歳	二七歳	三〇歳	三三歳	三三歳	三三歳	三四歳	三五歳	三七歳	三九歳	四〇歳	四二歳	四四歳	四六歳	四八歳	五〇歳	五四歳	五五歳	七六歳							
7月20日生まれ。本名元恒。 7月30日、叙従五位。	1月13日、家督相続。1月29日、子爵を受け継ぐ。3月2日、山口県豊浦郡教育会副総裁。3月22日、防長教育会副会長。	4月15日、昭憲皇太后崩御に付御通夜奉仕並に御大葬参列。	4月23日、日本赤十字社正社員に列す。	11月10日、大正天皇御即位式に参列。	5月11日、叙正五位。	9月、清末小学校校歌作詞「桜の匂い」。作曲山田耕筰。	7月、碧堂を主幹とした山口県下初の歌誌『白梅』防府町より創刊。	7月27日、日本赤十字社特別社員に列す。	9月8日、山口町宮野村公会堂で碧堂の講演会開催。なお、大正10年より11年にかけて山口町古熊善生寺にて歌会を2回程開催。この歌会に中学生であった中原中也が出席。	1月、『防長新聞』歌壇選者となる。	2月11日、山口町伊勢小路の武学生養成所で、碧堂を迎え「防長短歌大会」開催。	10月1日、碧堂選の『白梅歌集』を防府町「白梅詩社」より刊行。	11月17日、山口県家禽協会会長に任ぜられる。	7月25日、小野田セメント株式会社取締役就任。	2月3日、大正天皇御大葬儀に参列。11月10日、今上天皇御即位式参列。	6月3日、山口県豊浦郡清末村より東京に移住。	10月28日、三岐鉄道株式会社監査役就任。	1月1日、カナダサンタ藤田合名会社相談役就任。	6月2日、叙正四位。9月27日、貴族院議員に当選。	7月10日、貴族院議員再選。	8月18日、朝鮮・満州・中国を視察。12月15日、小野田セメント取締役退任。	12月21日、叙勲四等瑞宝章受章。	6月15日、叙従二位。	4月29日、旭日小授章受章。	神戸製鉄所顧問就任。	8月、太平洋戦争の終戦により各役職及び爵位消滅す。	7月28日、東京都小金井市の自宅にて逝去。